

活動報告

団体名	くまもと友救の会
活動名	団体と住民の協働による人力不可能ニーズへの対応
活動期間	2017年2月～2017年9月
活動の成果	<p>熊本に滞在していた県外の災害支援経験豊富な団体が次々と撤退する中、当団体はそうした団体と協働しノウハウを蓄積した上で自団体のノウハウとしてきました。</p> <p>重機を用いた作業系活動のほか、仮設団地における自治会支援活動などがその代表です。</p> <p>本事業を計画した当初はまさに重機支援活動や自治会支援活動へと当団体の活動内容がシフトしていく段階でした。「ボラサポ・九州」においては、当団体が連携を取る他団体や行政機関にも現地での当団体活動状況や事業計画の実現可能性などについて綿密に調査して下さいました。その結果が3次募集の採択となり、任意団体として自費運営を余儀なくされていた当団体としては本助成金に採択されご支援頂けたことは正に「干天の慈雨」のようでした。</p> <p>地元団体として手探りの中、本会の特色や他団体との協働スタンスを確立し、益城町を拠点とする支援団体で中心的な役割を担うことができているのは、本助成金によるご支援があったからこそです。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度はご支援頂きまして誠にありがとうございます。</p> <p>「くまもと友救の会」は熊本地震がきっかけで立ち上がった団体で、任意団体です。</p> <p>活動は多岐に渡り、作業系活動全般・仮設団地自治会支援・支援者情報共有会議主催・支援団体ネットワーク「みんなのボランティアステーション」運営など多岐に渡ります。</p> <p>多岐に渡る活動を自費運営していくのは大変です。助成金や個人寄付を頂かなければ不可能でした。</p> <p>我々は直接的に被災者と触れ合い、ニーズを聞き取り、対応しています。被災住民からは我々が「すごいね～」とお声を頂きますが、そのようなお声を頂いた時に一貫してお応えしていたことがあります。</p> <p>「我々はただ全国の有志の方々の想いを預かっているだけ。本当にすごいのは、一人一人のちょっとした力が繋がり、結集した時にこれだけの力になるってことがすごいですよね。」</p> <p>「できる時に、できる人が、できる事を。」</p> <p>「地域の人が、地域の事を、地域の為に。」</p> <p>このようにお伝えすることで、依頼者の自主的再建と共助を働きかけていこうと思っています。皆様から頂いたご支援は確実に被災地のお困りの方々へ形にして届けさせてさせていただきます。</p> <p>この度のご支援に重ねてお礼申し上げます。</p>

(活動のようす)

